

清純派女優

二十四歳

第二巻 主演ドラマでキモ男に

体を捧げる人気女優

海老沢 薫 著

内容

■ 著作権について

■ まえがき

■ 第一章 ドスケベ女と認知された人気女優

■ 第二章 ストーリーになる美人女優

■ 海老沢薫 B L O G

■ 海老沢薫 W e b 連載小説

※ 海老沢薫 B L O G

・ ・ ・ 最新作の出版情報や、そのほか各種コ
ンテンツ情報などを配信。

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

■ 著作権について

「清純派女優 二十四歳 第二巻 主演ドラマ
マでキモ男に体を捧げる人気女優」（以下本
書と表記する）の著作権は「海老沢薫」にあ
ります。

・本書のすべての内容は、日本の著作権法、
及び国際条約によつて保護されています。

・「海老沢薫」が事前に書面をもつて許可し
た場合を除き、本書の一部、または全部を、
あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファ
イル、ビデオ、テープレコーダー）により複
製、流用、転載、転売することを固く禁じま
す。

・著作権の侵害につきましては、著作権法第
119条などの罰則がありますのでご注意くださ
い。

■ まえがき

人気若手女優の我妻結衣は、とあるドッキリ番組の中で陰湿な色仕掛けの餌食となり、清纯派とは程遠い何とも淫らな本性を隠しカメラによつて捉えられてしまう。

幸い、番組関係者達の計らいでそれら結衣の痴態映像が番組内で放送される事はなかつたが、代わりに痴態映像を弱みとして握られた結衣は一部の番組関係者達の操り人形として生きていくことになるのだった。

人気絶頂の若手女優として華やかなスポーツトライトを浴びる一方で、その裏側では陰湿な男達からの羞恥の命令に従う屈辱の日々を送る結衣。

そんなある時、結衣の元に新しい連続ドラマの主演のオファーが届く。手渡された台本に目を通した結衣は、不倫をテーマにしたドラマの過激な設定と、ヒロインのあまりに異常な人間性に嫌悪感を抱き、オファーを断ろうとするのだが、なんとそのドラマには結衣

の弱みを握るスタッフ達が関わっていることが分かり、結衣は渋々ドラマの主演を引き受けることになる。

やがて、ドラマの撮影が始まると、早速、結衣は第一話目の収録から途轍もない羞恥の演技を求められ、ドラマの中とはいえ五十代の小太りの三流役者の男を相手に、下着姿で抱き付きキスをするという辱めを受ける事になるのだった。

■ 第一章 ドスケベ女と認知された人気女優

ゴールデンタイムに放送されたドッキリ番組の中で、今をときめく清纯派女優の我妻結衣は見事にドッキリの罠にかかり、偽ドラマ番組の控え室でパーテーションの向こう側で裸になって着替えている男達の様子を興奮しながら覗いている姿を大勢の視聴者に観られてしまったのだった。

放送終了後から、ネット上ではドッキリ番組で放送された結衣が男達の裸を覗いているシーンが次々と動画サイトにアップされ、SNS上では『清纯派女優の我妻結衣は実はドスケベだった』という内容の情報が飛び交った。そして翌日の一部スポーツ紙にも『人気女優、我妻結衣のドスケベな本性』といったタイトルの記事が躍った。

さらにドッキリ番組の中で、スタジオにいるスタッフ達から脅されてやった事とはいえない

自らの口で「私、実は男の人の裸を観るのが
大好きなドスケベ女なんです」と宣言した挙
句、テレビを観ている視聴者に向かって微笑
みかけた結衣は、一夜にして清纯派女優から
根はドスケベな女優へと世間の見方が変わっ
てしまったのだった。
ドッキリ番組が放送されてから、結衣はこ
れから仕事で関わる人達にどんな顔で接すれ
ば良いのか分からなくなっていた。今まではみん
な自分の事を清纯派女優という目で見てくれ
ていたが、男性の裸をギリギリした目で覗い
ているシーンを観られてしまった以上、これ
からはきつとドスケベな女という目で見られ
るに違いないのだ。
事実、放送翌日に自らのSNSを恐る恐る
確認した結衣は、そこに大勢のファンから多
数のコメントが寄せられていた事に気づき、
それらのコメントすべてが、ドッキリ番組で
放送された自らの覗きシーンとドスケベ宣言
に対する意見や感想であることを知った。

一部のファンからは、結衣の覗き行為に対する批判的なコメントが寄せられていた。」「結衣ちゃんがあんなドスケベだったなんて正直ガッカリした。もうファンを辞めます」「そんなに男の人の裸が大好きなんですか？」「結衣ちゃんだけは汚れていないと思っていたのに、あんな厭らしい目で男の裸を覗くなんて最低だ！」「女優に転身しなよ」「そうした一部のファンからの厳しいコメントに、結衣は胸が締め付けられる思いになった。ただ、そうした批判的なコメントがある一方で、結衣の新たな一面に喜ぶファンのコメントの方が圧倒的に多かった。」「真面目だとばかり思っていた結衣ちゃんが、こんなにドスケベだったなんて最高です！」「男の裸がそんなに好きなら、いつでも俺のヌード写真を送ってあげるからね！」

「やっぱ綺麗な女性はスケベでなくっちゃ
！」
「清纯な結衣ちゃんが好きだったので、正直
ガツカリもしましたけど、ドスケベな結衣ち
やんも受け入れてあげたいと思います」
「男の裸を覗いていた時の結衣ちゃんのギラ
ギラした目はエロくて最高でした！」
こうした結衣の覗き行為に対する肯定的なコ
メントが九割以上を占め、中には今まで清廉
潔白な印象が強い結衣の事が嫌いだったけど
スケベな本性を知ってファンになったという
者達も多くいた。
結果、ドッキリ番組は結衣の人気を凋落さ
せるどころか、むしろさらなる人気に火を付
ける形となり、国民的人気女優の道を突き進
む結衣にとっては何の問題もなかったのだ。
しかし、結衣の心中は複雑だった。多くのフ
アンが自分の事をドスケベな女として応援す
るようになり、仕事関係者達からも意味深な
表情で見られる機会が多くなった。そして、

何よりドッキリ番組の一部のスタッフ達に、
自らの痴態動画を弱みとして握られ、彼らの
羞恥命令に絶対服従しなければならなくなっ
たのだ。
私はこれからどうなるのだろう。華やかな
スポーツトライトを浴びる一方で、その裏側で
は陰湿な男達の操り人形となる現実。結衣は
日々の仕事に追われる生活の中で、漠然とし
た不安と恐怖を抱いていた。
そうした中、結衣にまた新たなドラマのオ
プアーが舞い込んできたのだった。それは、
結衣の痴態動画を握るスタッフが絡んでいる
作品で、結衣を女優としても一人の女性とし
てもさらに貶める羞恥極まりない陰謀が蠢い
ている事に、結衣はまだ気付いていなかった。

■ 第二章 ストーリーになる美人女優

結衣にオファーのあったドラマは、毎週木曜日の夜十時に放送される連続ドラマだった。早速、マネージャーから台本を手渡された結衣は、その中身に目を通し愕然とした。『あなたしか見えなくて』というタイトルのドラマは、主演の結衣が扮するOLが妻子ある上司に一方的に好意を抱き、ストーリーという内容化していく禁断のラブストーリーという内容だった。

こうした不倫などの許されぬ恋をテーマにしたドラマはこれまでも数多くあったが、今回、結衣が主演するドラマには、過去の作品とは決定的に異なる点が幾つかあった。それはまず、結衣が一方的に好意を抱く上司役を務める俳優が、こういうドラマに良く見られる二枚目俳優や人気俳優ではなく、明らかにモテない感じの五十代の小太りの俳優である。

ったのだ。結衣自身、台本に記されたキャスティングを見た時に、驚きを隠しきれなかった。どうして私がこんな人の事を好きにならなきやいけないの？それが結衣の率直な感想で、誰が見てもミスキヤストにしか思えない相手であつたのだ。

次に、これまで出演してきた作品群で結衣が築いてきた清纯派女優としてのイメージを打ち壊すような数々のセリフや演技が台本にびっしりと記されてあつたのだ。上司に強い好意を抱くあまりストーリーカーと化し、常軌を逸した行動に出るOL。その異常な行動ぶりには、台本に記されたあまりに卑猥なセリフに如実に表現されていて、結衣は台本を少し読んだだけで思わず恥ずかしさと恐怖で体を震わせてしまうほどだった。

こんなドラマやりたくない・・。幾ら普拉イムタイムの連続ドラマとはいえ、結衣はこんなアブノーマルなOLを演じ切る気にはとてもなれなかつた。しかし、オフアールを受

けたこのドラマの制作には、例のドッキリ番組のスタッフの一部が関わっている事が分かり、もしも出演を断れば彼らに握られている。自らの痴態動画が世に拡散され、もうこれから女優として表舞台で活躍することはできない。くなるに違いないという恐れを結衣は抱いた。やるしかないのね・・。これから女優として陽の当たる場所で生きていくために、結衣は悲壮なる決意を固めるしかなかった。そうして、ドラマ出演のオファーを快諾した。結衣は、ドラマの出演者や関係者が初めて一堂に顔を合わせる初日、緊張した面持ちでスタジオへと向かうのだった。

緊張する結衣の前に真っ先に現れたのは、あの忌まわしいドッキリ番組にも関わり、結衣が仕掛け人の男のイチモツにしゃぶりつく様子を捉えた隠しカメラの映像を握っているスタッフの一人でもある、西田という人物だった。

「やあ、結衣ちゃん久しぶりいゝ、今回もよろしくね」

西田はいかにもスケベそうな四十代のおじさんの笑顔を浮かべながら、馴れ馴れしく声を掛ける、ポケットからスマホを取り出し、そこに保存された一枚の画像を結衣に見せた。

「キヤッ」

結衣は思わず小さな悲鳴を上げて怯えた表情を示した。

「これ、俺のお気に入りの一枚なんだあ。よく撮れているでしょ」

西田がそう言っただけ嬉しそうに結衣に見せた画像は、ドッキリ番組の撮影の時に、結衣が、ホテルのシャワー室で両手を縛られて吊るされていた仕掛け人のイケメンのイチモツに無我夢中でしゃぶりついてる瞬間を捉えた隠しカメラの映像をキャプチャーしたものだっ

た。

「今回のドラマでも、これくらい際どい姿を見せてもらおうからね」

それは、西田の結衣に対するある種の脅しに
他ならなかった。
俺は君の弱みを握っていることを忘れるな
よ。もしも逆らうような真似をすれば、この
画像をすぐにでもネットにアップして世に出
すからな。西田の品のない笑顔の奥にはそう
した邪な思いが込められていたのだ。そして
結衣にも西田のそうした陰湿な企みは十分に
伝わっていた。
私、このドラマのクランクアップを無事に
迎えることが出来るのかしら・・・。これか
ら三ヶ月間に渡る連続ドラマの撮影期間に、
どんな辱めを受けることになるのか、それを
想像するだけで結衣は背筋が寒くなり、この
連続ドラマが女優としての大きなターニング
ポイントになりそうな予感を覚えていた。

■ 海老沢薫 B L O G

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

・ ・ ・ 「羞恥」 「露出」 「辱め」 をテーマとした小説シリーズや、各種コンテンツ情報などを配信。

■ 海老沢薫 Web 連載小説

『 清楚な美人妻 彩 27 歳 絵画モデル編 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=9281>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 国民のペットへと堕ちていくヒロイン ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18802>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 女神の憂鬱 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=26675>

『 女教師 玲奈 25 歳 ー 女性教諭の前代未聞の不祥事 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=17186>

『 美人社長 里帆 26 歳 ー 若き女社長のプライドを砕く屈辱の契約 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18885>